

---

**全日本フォーミュラニッポン第1戦  
ホンダエキサイティングカップ  
ワンメイクレース2008シビックシリーズ  
～東日本シリーズ～第1戦 出場報告書**

---



**TAKAMORI.COM**

全日本フォーミュラニッポン第1戦  
ホンダエキサイティングカップワンメイクレース2008シビックシリーズ  
～東日本シリーズ～第1戦 出場報告書

---

開催日 : 2008年4月5日 (予選) 6日 (決勝)  
開催地 : 富士スピードウェイ 路面: ドライ  
ドライバー : TAKAMORI.COM  
車両名 : CARACOAT ミネルバFD2  
レース結果 : 予選11位、決勝13位  
参加台数 : 16台

---

今回はホンダエキサイティングカップワンメイクレース2008シビックシリーズ～東日本シリーズ～第1戦 富士スピードウェイのご報告をさせていただきます。

4月3日(木)～車両カラーリング～

時間がたつのは本当に早いもので、準備をはじめてから、あっというまに開幕戦を迎えることとなりました。今年一年納得行くレースを続けていきたいと思えます。

本日、メンテナンスガレージがある山形県酒田市より車両が埼玉県和光市まで届き、キャラコート社にて、レース用のカラーリングを行います。ミネルバレーシングならびにキャラコート社のスタッフの方々のご尽力で、強行スケジュールの中、早朝から夜にかけて車両のカラーリングを行います。

真っ白い車からブランドネームを背負ったレーシングカーに変わっていく瞬間に思わず感動を隠せませんでした。すぐにこの車での厳しい1年間の戦いを決意させるに十分でした。携わって頂いたスタッフ皆様に感謝致します。

**TAKAMORI.COM**

## 4月4日（金）練習走行

本日は、午後1：30と午後4：10から2本のスポーツ走行が予定されています。新型シビックFD2を初めて走らせてます。初走行にワクワクしながらコクピットに乗り込みます。

### 1本目

コースインすると今まで乗っていたインテグラDC5とは車両感覚が異なり、ドライビングイメージの修正を早くも行う必要を感じました。1本目の走行では、車両に慣れるのをテーマに30分間走りこみました。メカニックの事前のセッティング作業が素晴らしかったおかげで、他車に見られたコーナー立ち上がりでのリアのピッチングもなく、スムーズにマシンを走らせることができました。タイムは2分2～5秒と安全運転で無事にマシンのフィールを感じ取ることができました。

### 2本目

1本目の走行でのコメントに基づき、サスペンションのセッティングを変更しました。少しペースアップして走行し、マシンへの慣れを増していくことを目標とします。

1本目比べて100Rでの挙動に安心感が増しています。2～3週、タイヤからのインフォメーションを感じ取ること集中した後、タイムアタックを行います。タイムにばらつきがありますが、ベストは2分0秒05と、本日走行したマシンの中では、5～7番手のタイムです。今回のドライブした感触から、サスペンションとブレーキのセッティングを変更し、明日の予選に挑みます。

# TAKAMORI.COM

## 4月5日（土）公式予選

朝8時の車検を終えた後、午後3時からの予選に控えます。今年初めてのシビックレースですので、各選手とも緊張気味ですが、ドライバーミーティングでは、今年参戦者の顔合わせもかねてか、皆落ち着いた感じでした。

### 予選開始

マシンに慣れていないため、予選はフルに20分間走る戦略です。タイムアタックはタイヤが一番美味しい2、3周目に勝負をかける予定です。

しかし、いざアタックを開始するも、Aコーナーで他車に引っかかること数度、上手くタイムを刻めません。そこで途中で作戦を変更し、タイヤのおいしいところを過ぎた後なので、コーナーでのタイムアップは諦め、他車のスリップストリームを利用してタイム向上を狙います。

しかし、ドライバーの不慣れとタイミングの悪さが災いして、満足なタイムアタックを行うことができませんでした。予選の戦い方は、次回への大きな課題となることを再確認させられる一日となりました。

予選 1 1位 1分59秒568

トップの選手（1分58秒.371）から、約1秒のビハインドです。決勝レースのスタート次第では前走車のスリップで十分ついていけるタイムですので、なんとか食いついていきたいものです。

# TAKAMORI.COM

4月6日（日）決勝レース 周回10周

午前10時から10周回の決勝レースが始まります。スタート位置は6列目の外側、第1コーナーでは危険な？ポジションとなります。開幕戦ですので、無駄な事故など起さぬよう、安全なスタートを決めたい所です。

シグナルが変わりスタートします。良くも悪くも平凡なスタートでした。1コーナーの進入ではセンター付近に空きがあったので、車をセンターに寄せますが、1コーナーの飛び込みで左右からサンドイッチされ、接触寸前です。イン側の車両が膨らんできたのを避けるために外側に逃げたい所ですが、15cm程度外側にも他車両がいるため、アクセルを抜く以外に道がありません。

予想通り、内側の車両が外側の車両まで膨らんでいき、目の前で2台が接触寸前です。Aコーナー進入で失速した前車両を抜き去り、ポジションを1つ挽回します。バックストレートで全車視界で確認することができ、ペース的には、トップ3台は速いなという印象です。ゲストドライバーの服部尚樹選手も目の前で激しく戦っています、1周目のヘアピンで早くも接触したように見えたが、上手くBコーナーに進入していったので、ダメージはなさそうです。タイヤを温存して前走車に着いて行けば、4位～13位までは大きな集団での走行ですのでチャンスがあるかもしれません。前走のカーグラフィック編集長の塚原選手のスリップに入りレース展開を読んでいましたが、自力で上位に上がって行きたい衝動に駆られ、3周目一コーナーから勝負を初めてしまいました。

結果、それがいけなかった・・・塚原選手とのバトルでタイヤが悲鳴をあげていることに気付かず、数週の間、舞い上がってレースにのめり込んでしまい、タイヤのライフを終了させてしまいました。

**TAKAMORI.COM**

チェッカーまでは前ではなく、ミラーで後を気にする展開が続き、結局スタートからチェッカーまで、常にバトルを繰り返した結果、13位完走と目立った成績を残す事は出来ませんでした。

様々なご支援を頂いた皆様には、自分のわがままでレース展開を棒に振ってしまった事を申し訳なく反省する所存です。また、改めてレースを振り返って見ると、私が考えているよりもはるかに選手層の厚いクラスであること、スリックタイヤとABSのコンビネーションへの慣れが自分には足りないこと、次レースに向けては数多くの練習が必要であると痛感しました。

マシンについての不満は一切なく、メカニックやパーツメーカー様のご尽力の結果、マシン自体の戦闘力はかなり高いことが分かりました。唯一の良かった結果としては、最高速度記録は、自車であるCARAC OATミネルバFD2が記録した事です。

ドライバーのスキル向上のために、様々な事にトライし、悩みながら1年間戦って行きたいと思います。今年1年、スプリントレースの猛者が集うシビック東日本クラスでレースに参戦して行く予定です。

これからも精一杯頑張りますのでご声援宜しくお願い申し上げます。本当にありがとうございました！！

# **TAKAMORI.COM**

全日本フォーミュラニッポン第1戦

ホンダエキサイトینگカップワンメイクレース2008シビックシリーズ  
～東日本シリーズ～第1戦 公式予選結果表

2008-04-05 晴れ/ドライ 富士スピードウェ

POS	NO.	DRIVER	TEAM/CAR	TYPE	BEST TIME	LAP	Ave. km/h
1	99	姜誠浩	KGTレーシングチームFD2	FD2	1'58.371	9	138.774
2	69	ピストン西沢	J-WAVE CIVIC ED	FD2	1'58.431	10	138.704
3	55	山口吉明	MitaウェッズSPMμFD2	FD2	1'58.525	8	138.594
4	346	酒井とくしげ	ホンダカーズしなのシビック	FD2	1'58.530	9	138.588
5	96	服部尚貴	SPOON CIVIC	FD2	1'58.543	9	138.573
6	32	遠藤光博	ナショナルインスツルメンツRTFD2	FD2	1'59.056	10	137.975
7	72	小川鉄也	オートバックスBPF2	FD2	1'59.132	8	137.887
1	10	関実	SPMウェッズ・ラムズシビック	FD2	1'59.204	9	137.804
2	78	吉橋孝之	スノコμYH千葉販売宮城FD2	FD2	1'59.226	10	137.779
3	7	並木重和	ENEOS・DDニイザ・シビック	FD2	1'59.504	9	137.458
4	24	TAKAMORI.COM	CARACOATミネルバFD2	FD2	1'59.568	9	137.385
5	8	青柳クニトシ	アーテックversusμFD2	FD2	1'59.853	10	137.058
6	95	塚原久	SPOON CIVIC	FD2	2'00.388	10	136.449
7	70	小林つねはる	BOSS・EDメッカシビック	FD2	2'00.495	9	136.328
6	17	下田亮次	スポーツコックピット狭山シビック	FD2	2'00.950	10	135.815
7	44	伊藤秀昭	Weds・SPM・μ・シビック	FD2	2'01.445	9	135.261

\*\*\*\* 以上予選通過 (2'33.975-130%) \*\*\*\*



全日本フォーミュラニッポン第1戦

ホンダエキサイトینگカップワンメイクレース2008シビックシリーズ  
～東日本シリーズ～第1戦 決勝正式結果表

2008-04-06 晴れ/ドライ 富士スピードウェ

POS	NO.	DRIVER	TEAM/CAR	TYPE	LAP	TOTAL TIME	Ave. km/h
1	99	姜誠浩	KGTレーシングチームFD2	FD2	10	20'02.579	135.686
2	69	ピストン西沢	J-WAVE CIVIC ED	FD2	10	20'03.192	135.617
3	55	山口吉明	MitaウェッズSPMμFD2	FD2	10	20'03.346	135.600
4	96	服部尚貴	SPOON CIVIC	FD2	10	20'05.690	135.336
5	346	酒井とくしげ	ホンダカーズしなのシビック	FD2	10	20'06.854	135.206
6	10	関実	SPMウェッズ・ラムズシビック	FD2	10	20'07.472	135.137
7	72	小川鉄也	オートバックスBPF2	FD2	10	20'10.021	134.852
8	78	吉橋孝之	スノコムYH千葉販売宮城FD2	FD2	10	20'16.085	134.179
9	7	並木重和	ENEOS・DDニイザ・シビック	FD2	10	20'17.180	134.059
10	32	遠藤光博	ナショナルインスツルメンツRTFD2	FD2	10	20'17.259	134.050
11	8	青柳クニトシ	アーテックversusμFD2	FD2	10	20'18.893	133.870
12	95	塚原久	SPOON CIVIC	FD2	10	20'21.486	133.586
13	24	TAKAMORI.COM	CARACOATミネラルバFD2	FD2	10	20'29.685	132.695
14	17	下田亮次	スポーツコクピット狭山シビック	FD2	10	20'30.054	132.656
15	44	伊藤秀昭	Weds・SPM・μ・シビック	FD2	10	20'30.521	132.605
16	70	小林つねはる	BOSS・EDメッカシビック	FD2	10	20'30.942	132.560

\*\*\*\* 以上完走 (規定周回数 7Laps) \*\*\*\*

Fastest Lap: 1'58.700(9/10) 136.389km/h 96 服部尚貴/SPOON CIVIC

StartTime: 10:46'10 FinishTime: 11:06'12.579

